

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人を大切に</li> <li>・支え合う心</li> <li>・安心に暮らせる社会作り</li> </ul> <p>「地域との交流を深めながら、孤立することなく生き活きと暮らせる」</p>		
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	<p>管理者より日々説明をされており、職員一人ひとりがその意義を理解し介護実施に心がけています</p>		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	<p>ご家族様、見学者の方とにご説明しご理解いただいております</p>		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	<p>地域の方の訪問がない現状であり、散歩、外出時を利用してご挨拶し親しんでいただけるようには努力しています</p>		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	<p>回数は少ないが、当グループのデイサービスでの催し物に参加したり、ご家族様のご協力にて行事に参加させていただいています</p>		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	<p>取組みは行いませんが、ご相談等は承っています</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価することにより介護のサ-ビスの指針がみえてきました</p>	<p>評価内容については、経験等も異なり職員の意識の差がみられ、今後も説明・学習の継続が必要</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>ほぼ定期的開催しご利用者の近況をお伝えし、ご意見等参考にサ-ビス向上に努めている。</p>	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>相談・助言・ご指導をいただいているが、運営推進会議に出席していただけるようには声掛けはしていません</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要な方は成人後見人制度を活用しているが、新しい職員は学ぶ機会までは至っていない</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>日常的に『虐待とは何か』を事例をとおし分かり易く説明している。 特に、入浴時には全身を観察し、傷・アザ等がないか確認している。 言動・態度等気をつけているが、ご利用者様にとって不快に感じられる事もあると思われる。</p>	
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>説明等不十分な点があると思われるので御尋ねし、インフォームドコンセントに努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>不満苦情を把握するよう心がけ、訴えやすい環境・雰囲気作りに努めているが、表出されていない部分も多々あると思われる</p>		
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>ご家族の訪問時、近況等をお伝えし又、介護記録はいつでもご要望に応じて閲覧できるようにしている。また、毎月個別にお便りしている。 運営推進会議時、職員の入退職者の報告をしている。</p>		
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族様が来館した際、目に付きやすい場所に投書箱を設置している。 外部者への表せる機会、苦情等の公的受付機関を掲示し説明している。</p>		
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>あらためて時間を作らず、その時々において職員から意見を求め、業務にも柔軟に対応できるよう努めている。</p>		
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>状態変化を予測し業務査定を行い、ご利用者を優先するよう調整をしている。</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>離職等により新しい職員が配置された時、コミュニケーションを重視した環境を設定し、一日も早くお互いに親しみの関係を保つことが出来、利用者様へのダメージを最小限に止めるよう、慣れた職員が心配りをしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご家族様、ご本人様よりの情報と全体像を把握し、支援の優先度を決めさせていただいています</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>環境に慣れ親しんでいただけるようコミュニケーション作りをし、信頼関係の中でサービス提供に心掛けるようにしています</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>喜怒哀楽を共に過ごせるようには努めていますが、時としてご利用者様に支えられている部分も多々にしてあります</p>		<p>業務に流されることなく、個々に気持ちの余裕を保ち、一つひとつ行動・言動に根拠を持ち、支えあい学びを得る関係づくりに努力が必要である。</p>
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>毎月お便りで近況を報告したり、来館時にはご利用者と少しでも多くの時間を持っていただけるよう支えていく関係を築いていけるようにしています</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>ご家族様来館時にはご利用者様の近況をお話しして、より良い関係を築けるようにしています</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>希望に応じてつながりが継続できるように支援している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	日々のレクレーションに参加していただき月間行事などを行うことで、利用者様が関わりを深く持っていただくよう、コミュニケーション時に職員が介入し話題作り・席順等配慮し、お互いに近づけるようにする		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	気軽にお話ししていただくように努めており、ご利用終了後にもお付き合いをいただいております		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	希望・意向の把握には努めてはいるが、まだまだ不十分と感じる		
34 これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご利用初期、ご本人・ご家族から情報をいただきますが、サービス利用中の会話の中から情報収集するようにしています		
35 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	毎日の申し継ぎの中で情報を共有しながら状況に合わせたケアを転換しています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	カンファレンスを開催し、ケアマネ-ジャーが必要な情報を職員全員で出し、ご本人やご家族さまの要望を取り入れ、必要に応じて関係各署との話し合いを設け計画作成に反映させている		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	<p>ケアプランに沿ったケアを日頃から展開しているが、変化があった場合はケアマネジャーに報告しプランの見直しを行うとともに、カンファレンスの場を設けて都度ご本人やご家族様のご了承を得ている</p>		
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子や介護の実践を記録し情報は共有し実践では気づきも多く実行しているが、記録に残されていない部分もあるがカンファレンス等にて情報を確認しながら立案しています</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>	<p>要望時は柔軟に支援していきます</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>	<p>警察、消防等との協力体制をとっていますが、その他に働きかけはしていません</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>	<p>対象となる方がありません。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	<p>対象となる方がありません。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回の医師による診察を受け、必要であれば常に医療機関との連携が取れる体制にあります		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	認知症にも見識のある医師により、日常的に相談・支援を賜り、速やかな診断・治療を受けられる体制が整っている。 定期的に診察があり、病状および認知症状の変化に早期対応が出来る。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	健康増進および予防し、病状の変化を予測し急変対応できるよう看護師である管理者より指導説明されている		健康増進および予防し、病状の変化、予測される急変対応が出来るよう、常に看護師から説明と対応方法を指導されている。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	退院の決定は医師であり、早期退院向けその相談は行っていないが、早期退院になっている		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	説明はしているが、具体的内容までに至っていない。 「出来るだけ早い段階」の説明は、時間の経過とともに変化するとされるため、その時機になってから、方針を決めている		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	過去より現在までは重度化した利用者様を介護させていただいていましたが、介護員の肉体的精神的重圧を抱えてのケアではご利用者様にも満足を得られるような支援は無理があるように思われる		介護者が終末期とはどういう事なのか理解し、終末期のご利用者様およびそのご家族様が悔いを残すことなく穏やかな最後だったと想えるような支援が出来るよう、質の向上と精神的肉体的強さが必要 介護者の自己満足だけで止まることはしたくないと思っています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	対象はおりません		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	一人ひとりがサービスをご利用なさっているお客様であることを認識し、尊重した言葉遣いや接遇に気を付けてご利用者様と接して 記録等は個人情報を遵守するよう、決められた場所以外への持出しを禁止しております		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	ご利用者一人ひとり、説明の仕方に工夫を凝らして そぐわない方向に決めないよう職員も良くお話を傾聴して、ご本人の希望に添えるように努めています		
52 日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	最低限の生活ルールを守っていただきながら、利用者様がその日をどの様に過ごしたいのかを察知し職員間の連携を図り、希望に添えるように努めております		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	出張理美容をご利用されていますが、今までご利用されていた美容室にご家族様と外出を兼ねてお出かけになる方もいます その人らしい身だしなみを整えるようにするため、毎日同じ衣服を着ないようおしゃれの意識付けをしています		
54 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様のことを見極めたうえで、調理補助やテーブル・食器拭き等に 参加していただいています		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>個々の嗜好は提供されていないが、皆様のお好みに合わせるようにはしております</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>排泄失禁の方のみリハビリパンツを使用されていますが、日中は共同トイレ、夜間はポ-タブトイレに誘導しています 体力消耗や病状変化のある方は夜間オムツを使用し、安眠を優先している</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>午前は活動時間、午後は入浴を兼ねた休憩時間と大別している。 入浴は一人週2~3回実施し、希望に応じて音楽を聴きながらリラックス入浴を取り入れている。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>日中の活動と休憩時間とのバランスを整え、安眠につながるよう配慮しています</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>ご本人の出来る力に合わせて、日常の役割、音楽、体操、散歩等の気分転換を行っています</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご本人で金銭を所持していません 買い物等の必要に応じてホ-ム側が立替をしています</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	出来るだけ希望に添えるように散歩等は行っているが、その日の希望全てが叶えられるまでは至っていない		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	個別のご要望には応じ切れないことが多く、皆様が喜び、思い出に残るような場所を選択しています		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	手紙は支援しております 電話は要望に応じ行っていますが、状態に応じてご家族様と相談のうえ電話を遠慮いただくこともあります		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	来館する方ご利用者様とがゆっくりくつろいで過ごしていただくような、場所と環境を整えるようにしています		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	原則、どのような状況下においても禁止しております。 ただし、夜間帯に転倒リスクの高い方には、ベット柵を1箇所のみ使用する場合もあり得ます		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	階段等の危険箇所には鈴を掛ける等の工夫を凝らし、錠をかけないようにしていますが、リスクが非常に高く介護員が手薄になる時間帯に、一時的に錠をかける場合があります 殆ど、錠をかけず見守りをしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	定期的に訪室し個別の行動パターンを把握・観察し、事前に危険を察知しています。 構造上で死角になる部分はモニター・カメラで見守りを行っております		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	危険なもので管理を必要とする場合はホームで管理し、使用時は見守り使用していただく。使用後は必ず定数を確認するようにしています		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	毎日の申し継ぎに情報交換し、予測される個々のリスクを念頭においてケアしており、事故を未然に防げるよう心掛けている		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	管理者より、個々の病状から起こり得る急変とその応急手当、事前に具体的な指導がされている		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回、近接の病院との合同火災避難訓練を実施している。 避難誘導については、他者でも一目で解るよう自室の表札に担送・護送・独歩の色別をし、災害時の対応に備えている。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	必要時や状況の変化に合わせて、その都度、管理者より御家族様へ状況説明し、リスクを踏まえ介護内容について了解・同意を得ております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	一人ひとりの病状や体調変化の早期発見の観察をし、変化を予測しケアしております 24時間、体調変化時は管理者の指示のもと、速やかに異変に対応できるようにしている		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬時は職員の見守りの中で行っております 薬の目的や用量などについては薬剤情報を参照している	○	薬剤情報は常に職員が閲覧できる場所に整理整頓されております。職員が薬の効用や副作用を理解するように日々のカンファレンスを通して説明をしております。 また、薬の出し入れ・手渡し・服用の際に職員が3度のチェックを行い、誤薬が起きないように徹底しております。薬の変更時にはかならず御本人様の容態や調の変化を細かく観察しております。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排便2日間ない時には肛門マッサージ - ジ等を行い、自然排便を促すようにトイレ習慣、日常の飲食物または活動と休息のバランスを整えるようにしている		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、個々の状態に応じて支援し、口腔内の保清には特に気を配っており、毎日観察は継続されている		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	飲水、食事摂取量(cal含む)の一日量増減を把握・調整しながら支援している		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	介護者、御利用者ともに手洗い及びうがいは励行しており、手拭きは使用箇所 に個人別にタオルを設置している 発熱、下痢、皮膚炎等の症状出現時には、医師の診断を受ける前に、即、他者への感染予防対策を行っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	台所や調理用具の使用後は、必ず消毒することを徹底しています 食材は調達後ただちに冷蔵保存し、在庫することなく常に新鮮な食材を提供できるように配慮しています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関周りは夏季は水まきや掃除を行い、冬季は雪かきをこまめに行うなどして、来館者に不快な印象を与えないように工夫し配慮しております。 親しみやすい看板をかけられないために、玄関先には植木も植樹し、少しずつ外観を整えつつあります。		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共同の空間は常に清潔な環境にし、窓際からは外観を眺めるよう窓にはカーテンをせず衝立等を利用し心地よい光を取り入れ、四季を感じられるようにしている		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下や窓際には、歩行可能な間隔に椅子やテ - ブルを配置しており、いつでも寛げる場所の確保をしている		
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れたものをご持参されて、お好みの位置に設定されており、ご自分のお部屋を意識され居心地良く過ごされているようです		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	四季を問わず、午前午後空気を流通するため換気を行っている 冬季は洗面所に水張り等を行い乾燥予防をし、人が集まるところにはウィルス除去清浄機を設置している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>身体機能が低下しないよう個々の力に応じて物の位置関係や身体動作を配慮し安全確保しながら自立した生活へと導けるようにしている</p>		
<p>86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>「出来る事」と「出来ない事」を見極めながら、個別の表札やトイレ表示を大きくし自立した生活へと働きかけています 日常生活全般、近・遠位で見守り混乱や失敗を最小限に止めるようにしている</p>		
<p>87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>天気の良い日には外気浴や景色を楽しみながら食事を摂っていただけるよう工夫しています ベランダに花壇を作り、生育を楽しみながら水やり、洗濯物干し、外気浴を兼ねたランチやティ - タイム等を演出して有効活用している</p>		

サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる 1 ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 3 利用者の1 / 3くらい 4 ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている 1 ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 3 利用者の1 / 3くらい 4 ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている 1 ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 3 利用者の1 / 3くらい 4 ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ほぼ全ての利用者 2 利用者の2 / 3くらい 3 利用者の1 / 3くらい 4 ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ほぼ全ての利用者 2 利用者の2 / 3くらい 3 利用者の1 / 3くらい 4 ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている 1 ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 3 利用者の1 / 3くらい 4 ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています 1 ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 3 家族の1 / 3くらい 4 ほとんどできていない

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>1 ほぼ毎日のように 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2 / 3くらいが 3 職員の1 / 3くらいが 4 ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2 / 3くらいが 3 利用者の1 / 3くらいが 4 ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2 / 3くらいが 3 家族等の1 / 3くらいが 4 ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

- ・認知症症状が進行せず、継続または改善されている
- ・日常生活の中で身体機能の向上および病状の安定と急変時の早急対応を目指している